

原子力安全シンポジウムの開催について

「東京電力福島第一原子力発電所事故後の原子力安全への取組み」

2013年2月26日(火)開催

福島第一原子力発電所の事故により、日本の原子力を巡る情勢は、大きく変わりました。特に、政府、国会などの事故調査報告を受け、これまでの原子力安全の取組みについて厳しい見直しが行なわれています。

それに伴い、原子力利用における安全の確保を図るために、中立公正な立場で独立性をもってあたる原子力規制委員会ならびに電気事業者側も更なる安全確保を目指すための原子力安全推進協会（JANSI）が設立されました。

本シンポジウムでは、日本にとっての原子力の安全確保のあり方や国際的な安全に対する活動などについて、海外の原子力安全規制専門家および科学としての原子力に見識を持つ有識者からの問題提起となる講演を行ないます。

さらに、これらの問題に関連して、海外の原子力規制の専門家はもとより、日本の原子力規制当局、原子力専門家、マスメディア、電気事業者による意見発表やパネルディスカッションを行ない、実効的な原子力安全への取組みに係る解決策のヒントを見出すことを目的としています。

2013年2月26日(火)

開会セッション

- ・ 開会挨拶 (10:45-11:00)
- ・ 基調講演 (11:00-12:00)
「技術者の社会的責任」 (仮題)
 - ・ 日本の科学・技術に関する有識者
- 「原子力リスク低減に繋げる社会的・制度的マネージメントとは？」 (仮題)
 - ・ 海外の原子力規制専門家

パネルディスカッション

- (13:30-17:30)
- 「国内外の原子力安全への取組み」
- ・ 海外の原子力規制専門家、日本の原子力規制当局、原子力専門家、マスメディア、電力関係者など

◆会場

「一橋講堂」

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 TEL03-4212-3900

学術総合センター2階

<http://www.hit-u.ac.jp/guide/other/pdf/guide.pdf>



一般社団法人 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー9F

TEL 03(6812)7103

FAX 03(6812)7110

e-mail: safetysympo@jaif.or.jp

原子力安全シンポジウム セッション内容

開催日：平成 25 年 2 月 26 日（火）

全体テーマ：東京電力福島第一原子力発電所事故後の原子力安全への取組みについて

開会挨拶 10:45～11:00

・今井 敬：一般社団法人 日本原子力産業協会 会長

基調講演 11:00～12:00

（講演30分×2名）

技術者の社会的責任（仮題）

・吉川 弘之：科学技術振興機構 研究開発戦略センター長
東京大学 元総長 日本学術会議 元会長

原子力リスク低減に繋げる社会的・制度的マネジメントとは？（仮題）

・J. ラークソネン：フィンランド放射線・原子力安全庁 元長官
西欧原子力規制者協会(WENRA) 前会長

－ 昼食（12:00～13:30）－

パネルディスカッション 13:30～17:30

（プレゼン 20 分×6 名，コーヒーブレイク 30 分，パネルディスカッション 90 分）

テーマ：国内外の原子力安全への取組み

国内外の原子力安全確保に向けた活動や見解等について各パネリストから紹介頂くと共に、実効的な原子力安全への取組みについて議論する。

◆**議長**：田中 伸男：一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 特別顧問
国際エネルギー機関(IEA) 元事務局長

◆**パネリスト**：

- ・J. ラークソネン： 前述
- ・J. スカローラ：米国原子力エネルギー協会(NEI)：福島事故タスクフォース委員長
- ・山本 哲也：原子力規制庁審議官
- ・岡本 孝司：東京大学大学院教授
- ・滝 順一：日本経済新聞論説委員
- ・富岡 義博：電気事業連合会原子力部長

以 上